

週刊住宅

2021年(令和3年)2月15日号

NO. 2946 (毎週月曜日発行)

年ぎめ購読料 18,164円 本体・送料込み(税込み19,980円)

発行所 株式会社週刊住宅タイムズ

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-4 巴ビル

電話:03-3234-2050 FAX:03-3234-2070

発行人 週刊住宅タイムズ 代表者 鈴木美由紀

2020年6月17日 第三種郵便物認可

問い合わせ:info@sjt.co.jp 情報提供:press@sjt.co.jp

CFネッツ流

新・大家実践塾

「教育勅語です」

神社の相続について相談

が病気で倒れてしまった。

病状は深刻で、相続が発生してしまったかも知れない。相続税、どうなってしまうのか。

「すぐにご相談に乗っていただけますか?」

長男から電話をいたしました。急ぎの様子だったので、翌日つかがうことにした。

「神社の相続～相続相談事例～」

141

都内好立地にある大きな神社だった。この土地の価値としては、10億円くらいあります。これに相続税がかかるのなら大変だ。しかし、神社名義の財産については相続の対象にはならない。神主の立場を継承するだけなので、その大元の宗教法人も含めた宗教法人の問題となる。もし、長男が

神社と全く関係ない仕事をしているのであれば、神主の立場を継承できるのかが問題となる。

今回は、長男自身も長年神社に勤められていたとのことで、神社の継承には問題はないはず。心配されて

草書ではなく、楷書で書いてみてください」と言われてあった。読みやすそうなので良くなきかもしれない。

そこで、神主の立場を継承できるのかが問題となる。読みやすそうなので良くなきかもしれない。

そこで、神主の立場を継承できるのかが問題となる。読みやすそうなので良くなきかもしれない。

そこで、神主の立場を継承できるのかが問題となる。読みやすそうなので良くなきかもしれない。

資産価値は約10億円か

共有の土地で判断に迷い

現在の状況からすると、相続税圧縮

売却する方が良いのか、具

体的にプランを入れて検討

するにした。

そこで、父兄母と共有になつて

いるので、読み始める

と聞かれた。

一番簡単なのは売却し

売却するのが良いのか、具

体的にプランを入れて検討

するにした。

そこで、父兄母と共有になつて

いるので、読み始める

と聞かれた。

■ 鎌倉鑑定 小林雅裕